

滋賀県多文化共生推進プランの改定（素案）について

1 計画改定の趣旨

現行プラン（第2次改定版）ので計画期間が今年度末で満了となることに加え、コロナ禍で浮き彫りとなった課題や在留資格制度改正等の社会経済情勢の変化に対応する必要があることから、本県多文化共生施策を進めていくため、人口減少社会の中で存在感を増す外国人県民等と日本人県民とが地域で共に生きていくという意識への転換点にあるとの認識のもと、必要な改定を行う。

2 計画素案のポイント（主な見直し箇所等）

○第1章

- ・外国人県民等も日本人県民も共に同じ地域社会の担い手ということを強調し、特に日本人県民に多文化共生の意識高揚を図るため、日本人県民も本プランの「対象者」であることを明記する。

○第2章

- ・「社会経済情勢の変化」を追加し、コロナ禍の影響やデジタル技術の進展、近年の在留資格制度改正等の全国的な動きを示す。

○第3章

- ・「これまでの取組と今後の課題」を追加し、現行プランを総括したうえで、外国人県民等と日本人県民とが地域で共に生きていく意識への転換点にあることを示す。

○第4章

- ・滋賀県がめざす多文化共生の姿について、行動目標と結びつく内容に変更する
- ・プラン体系の図を、全体を見通せる推進イメージの図に変更する。

○第5章

- ・今後の取組において、日本人県民の多文化共生の意識高揚が特に重要であるため、「多文化共生の意識高揚と活力ある地域づくり」を行動目標1に掲げる。

○第6章

- ・多文化共生施策を強力に推進するため、新たに県庁内で部局横断の会議体を立ち上げる。

○その他

- ・推進体制についての章を巻末に掲げる。
- ・数値指標を最後にまとめて記載する。
- ・本文のフォントをUD（ユニバーサルデザイン）フォントにする。